

平成 30 年 2 月 5 日

各位

会社名 光村印刷株式会社  
代表者名 取締役社長 阿部 茂雄  
(コード番号 7916 東証第 1 部)  
問合せ先  
取締役経理本部長 嶋山 芳夫  
(Tel.03-3492-1181)

固定資産の譲渡及び特別利益の計上見込み並びに  
特別損失の計上及び特別損失の計上見込みに関するお知らせ

当社は、以下のとおり固定資産の譲渡を行うこととし、当該譲渡により平成 30 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間（平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日）において特別利益（固定資産売却益）を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。また、平成 30 年 3 月期第 3 四半期連結会計期間（平成 29 年 10 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日）において、特別損失（減損損失及び固定資産除却損）を計上するとともに、平成 30 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間（平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日）において、特別損失（固定資産除却損）を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 固定資産の譲渡及び特別利益の計上見込み

(1) 譲渡の理由

老朽化している社宅の廃止に伴い敷地を売却することにより、経営資源の有効活用と財務体質の強化を図るものです。

(2) 譲渡資産の内容

資産の名称及び所在地	譲渡価額	帳簿価額等	譲渡益
川越南台社宅用敷地（約 1,300 坪） 川越市南台 2-2	約 540 百万円	約 220 百万円	約 320 百万円

※帳簿価額等は帳簿価額と譲渡に係る費用を記載しています。

(3) 譲渡の日程

平成 29 年 10 月 27 日 取締役会決議  
平成 29 年 11 月 6 日 売買契約締結  
平成 30 年 3 月末 物件引渡し

(4) 売却先の概要

売却先につきましては、国内の事業法人ですが、売却先の強い希望により公表を控えさせていただきます。

なお、売却先と当社との間には、資本関係、人的関係及び取引関係はなく、また、関連当事者にも該当しません。

(5) 今後の見通し

物件引渡の行われる予定の平成 30 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間（平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日）において、特別利益に固定資産売却益約 320 百万円計上する見込みです。

2. 特別損失の計上及びその理由

(1) 減損損失

当社の主力工場である川越工場において、一層の生産性の向上を図るため、一部建物・設備の解体を行うこととしました。これに伴い、平成 30 年 3 月期第 3 四半期連結会計期間（平成 29 年 10 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日）において、特別損失に減損損失 64 百万円（当該建物・設備の帳簿価額）計上しました。

また、周辺環境の変化から一部の倉庫を撤去し他の倉庫に集約・物流業務の効率化を図ることとしました。これに伴い、平成 30 年 3 月期第 3 四半期連結会計期間（平成 29 年 10 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日）において、特別損失に減損損失 31 百万円（当該倉庫設備の帳簿価額）計上しました。

(2) 固定資産除却損

当社で使用していた固定資産の除却により、平成 30 年 3 月期第 3 四半期連結会計期間（平成 29 年 10 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日）において、特別損失に固定資産除却損 63 百万円計上しました。

平成 30 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間（平成 29 年 4 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日）においては、上記の固定資産除却損を含めて 71 百万円特別損失に計上しています。

これらは、主に当社の川越工場及び草加工場の機械等の除却によるものです。

3. 特別損失の計上見込み及びその理由

当社は、上記「2. 特別損失の計上及びその理由（1）減損損失」に記載しました建物・設備の解体費用等により、平成 30 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間（平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日）において、特別損失に固定資産除却損約 80 百万円計上する見込みとなりました。

4. 今後の見通し

上記 1、2、3 による平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日）の通期業績予想に変更はありません。

以 上